

第1部

総論

# 第1章 後期基本計画策定にあたって

## 1 計画の目的と意義

那須町では、平成18年3月に「緑と活気にあふれ心ふれあうまち」を将来像とした今後10年間のまちづくりの基本構想を定めた第6次那須町振興計画（ハートフル那須プラン）を策定しました。

また、分野ごとに6つの目標を設定し、前期・後期基本計画の中期プログラムによる総合的な施策展開を図ることにより、将来像実現に向けた取り組みを進めています。

### ——分野ごとの目標——

- (1) 自然と共生するまち
- (2) 人が行き交いふれあうまち
- (3) 暮らしにうるおいがあるまち
- (4) いきいき伸びるまち
- (5) 健やかに心育むまち
- (6) 自立と協働のまち

前期基本計画は、平成22年度をもって期間満了となることから、振興計画基本構想の目標年度である平成27年度に向け、平成23年度からの具体的な施策を示す後期基本計画を定める必要があります。

平成18年3月の第6次振興計画策定時と比較して、地方をめぐる状況は、地域経済の低迷や人口流出、高齢化世帯の増加等、さまざまな課題に直面している状況にあります。

このような中、本町においては前期基本計画に基づき着実に施策の推進を図ってきました。

具体的には、道路ネットワーク構想に基づく計画的な道路整備を実施し、特に山梨子・茗ヶ沢線の全線開通、那須高原スマートインターチェンジの供用開始により、町内の交通網は大きく進化しています。

また、光ファイバーによる全町ブロードバンド化の完成により良好なインターネット環境が整備されました。

観光面では、「道の駅那須高原友愛の森」の総合ターミナル化や、「道の駅東山道伊王野」の活性化が図られたとともに、観光と農業を連携した農産物直売所等の発展的経営が進められてきました。

また、エコツーリズムに最適な旧那須御用邸用地「那須平成の森」が一般に開放されることで、那須観光の多面性がさらに拡大しています。

福祉医療面では、地域福祉計画の策定、中学校3年生までの医療費無料化や学童保育等の充実に努めてきたところです。

なお、健全財政の堅持については、行政改革集中プラン及び財政運営の指針により歳出削減に努めるとともに、起債の抑制や、各種基金の維持を図ってきました。

第6次那須町振興計画は、このような前期計画の実績を経て後期計画に移行することとなりますが、長引く国内経済の低迷や少子高齢化社会の進行により、社会構造が大きく変化しています。

これらの情勢を踏まえ、本町の自立性を確保するとともに、地域特性を生かした政策・施策を後期基本計画に定め、町民の皆さんとのパートナーシップを大切にしたまちづくりに取り組むものとしします。

## 2 計画の構成と期間

### (1) 基本構想 (平成18年度～平成27年度)

本町の特性や、課題などを踏まえ、平成27年度に向けたまちづくりの目標を定める長期ビジョンです。(平成17年12月町議会議決 平成18年3月公表)

### (2) 後期基本計画 (平成23年度～平成27年度)

前期基本計画の実績検証と、直近の社会情勢を踏まえ、構想実現のために今後5年間における施策展開の方向性を示すものです。

### (3) 実施計画

基本計画に基づいた具体的な事務事業を年度別計画にまとめたものです。また、毎年度の事務事業評価により進捗状況や課題を確認し、※P D C Aサイクルを確立するとともに、各年度の予算編成の指針とします。

※P (プラン) D (実行) C (チェック) A (アクション<改善>)

#### ■計画の構成と期間

	H18～H22	H23	H24	H25	H26	H27
基本構想	[長期的な計画期間を示す矢印]					
基本計画	前期 [矢印]	後期 [矢印]				
実施計画 事務事業評価		[矢印]	[矢印]	[矢印]	[矢印]	[矢印]